



組織で支える「絆づくり」と「居場所づくり」 安心できる学級でスタートするために

西部教育局
お役立ち情報
令和6年4月号

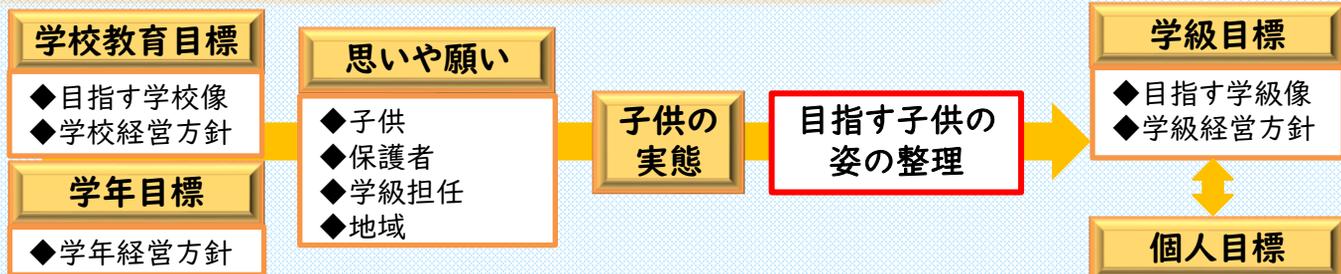
年度当初の学級づくりのポイント 子供をつなぐ、子供とつながる「みる」「きく」「認める」



取組①

学級経営の目標を立てる(学級目標の設定)

「みる」「きく」「認める」とは？
～参考～
お役立ち情報 令和4年5月号



学級目標は、目指す学級の姿です。まずは、担任としてどのような子供を育てたいのかを考えましょう。その際に、一人一人の変化や個性を「みる」、子供が理想とするクラス像を「きく」、一人一人の思いを「認める」ことを大切にしながら多面的な見方で子供の実態を把握し、目指す子供の姿を整理していくことが大切です。

取組②

教員と子供、子供同士の人間関係をつくる

重層的支援構造モデル



具体例① 毎日、全ての子供との一會話を心がける

- 朝、教室で出会ったとき、係の仕事に取り組む姿を見かけたとき提出物を持ってきたとき等、子供に温かい声をかける。
(例)「〇〇さん、掃除を黙々と頑張ってたね」
- 昼休憩等に、教室内や体育館、校庭で子供たちと会話をする。
- 授業中の机間指導の際に、声をかける。

具体例② 友達の気づき・発見を大切に、共有する

- 感想や日記の中から、友達の気づきや発見等、心の動いた場面を取り上げて紹介する。
- よく発言する子供だけでなく、意図的な指名をする。
- グループワークトレーニング等を取り入れ、振り返りを通して友達の思いを共有する。

教員と子供の良好な人間関係づくりは、**プロアクティブ**(課題が発生する前に常態的・先行的に行う生徒指導)の観点からも欠かせません。日々の教職員の子供への声かけや励ましに加えて、授業や行事等を通して個人や学級全体への働きかけが大切です。年度当初から意識して取り組みましょう。

詳しくはココ！
学級びらきの
ポイントが結核！

第2回 学校における支援体制づくり講演会(動画配信)

【内容】
「特別活動を日々の生活や学習に活かす学級での土壌づくり」
講師：やまぐち総合教育支援センター 梶田崇晴 氏
【動画配信期間】
令和6年3月1日(金)～5月31日(金)

学級経営の視点から児童生徒理解に基づいた支援等を学び、様々な課題を抱える児童生徒の支援に活かしていただくために、ぜひ御視聴ください。

※なお、研修動画は校内教職員のみ閲覧となるため、動画の掲載情報(URL、二次元コード)については、いじめ・不登校総合対策センターからの通知(令和6年2月28日付)をご確認ください。